

平成 21 年 1 月 19 日
郵便局株式会社東海支社

オリジナルフレーム切手「名古屋開府 400 年」の販売開始

郵便局株式会社東海支社（名古屋市中区丸の内 3 - 2 - 5 支社長：齊藤 郁哉）は、次のとおりオリジナルフレーム切手を販売します。

このオリジナルフレーム切手は、名古屋開府 400 年を題材としたもので、名古屋市内の郵便局（簡易郵便局を除きます）で限定販売するものです。

1 切手の概要

名 称	名古屋開府 400 年
販売開始日	平成 21 年 1 月 26 日(月)
販売期間	平成 21 年 1 月 26 日(月)～平成 21 年 4 月 24 日(金)
販売部数	10,000 部(予定)
販売郵便局	名古屋市内の郵便局(302 局) (簡易郵便局及び郵便切手類販売所では販売しません)
シート構成	1シート 80 円切手×10 枚(縦 2 枚、横 5 枚)
販売方法	シート単位で販売します。
販売価格	1シート 1,200 円

2 切手デザイン 別紙のとおり。

3 贈呈式

開催日時	平成 21 年 1 月 26 日(月) 13:30～
開催場所	名古屋市役所
受贈者等	受贈者：名古屋市長 松原 武久 様 贈呈者：郵便局株式会社東海支社長 齊藤 郁哉

4 その他

(1) 本件のオリジナルフレーム切手は、1 月 26 日(月)以降、郵便局ホームページ「郵便局の通販ショップ」<http://www.postal-jp.com/psc/goods/index.html>でもお取り扱いします。

(2) 詳細については、下記の連絡先へお問い合わせください。

<p>【報道関係の方のお問い合わせ先】 郵便局株式会社東海支社企画部(広報担当) 電話：052-963-6202</p> <p>【お客さまのお問い合わせ先】 郵便局株式会社東海支社営業本部(郵便担当) 電話：052-963-6219</p>
--

名古屋開府四百年

Nagoya Castle 400ys Nagoya Culture 400ys





NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80

切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に捺印がかかることがあります。

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

名古屋開府400年

2010 - Nagoya's 400th Anniversary



先人たちの夢が、400年つながり、続いてきたから今の名古屋があります。

2010年(平成22年)、名古屋開府400年を祝い、次の100年に向け新たな歴史を開きます。

名古屋東照宮神事山車引出之図



東照宮祭の祭礼は、天王祭、若宮祭とならび名古屋三大祭とされ、戦前まで「名古屋祭」と言えばこの東照宮祭を指していたといえます。祭礼には山車が出るのが通例で、1707年(宝永4年)までに9輛の山車が作られ、華やかに曳き廻されました。

ライトアップされた名古屋城



伊勢音頭に「伊勢は津で持つ、津は伊勢で持つ、尾張名古屋は城で持つ」と歌われた名古屋城。1945年(昭和20年)の空襲で焼失しましたが、1959年(昭和34年)に再建。復元され、大天守に上げられた金の鯨(きんこ)とともに、今も昔も名古屋の町のシンボルとなっています。

名古屋城本丸御殿障壁画



障壁画桜図

かつて名古屋城に天守閣とともにあった「本丸御殿」は、京都の二条城二之丸御殿と双壁をなす御殿建築の傑作でしたが、1945年(昭和20年)5月に空襲で焼失しました。しかし、取り外しのできた襖絵や天井板絵など、1,049面が焼失を免れ現存し、うち1,047面が国の重要文化財に指定されています。



障壁画花桶図

今回デザインに用いたのは、桜花を描いた障壁画「桜図(部分・重要文化財)上洛殿上段之間西入側南側杉戸」と、花桶を描いた「花桶図(部分・重要文化財)上洛殿二之間南入側西側杉戸」です。

名古屋名所団扇絵(名古屋市博物館所蔵)



「山王稲荷初蛭子」

「名古屋名所団扇絵」は、江戸時代末期の名古屋名所地を描いた団扇絵の名作。作者の森玉僊(もりぎよせん)は狩野派の画法を学び、「尾張名所図会」の挿図を数十枚担当しました。

山王稲荷は、享保年間には名古屋の芝居興行の拠点でした。この絵は後の時代を描いたもので、初蛭子の賑わいが描写されています。
※現・中区古渡町



「堀川 花盛」

堀川は桜の名所で、桜の季節には花見に訪れる人々で、たいそう賑わいました。絵の左手は日置橋と云われています。
※現・中区松原二丁目・中川区松重町「日置橋」付近



「七ツ寺紅葉」

かつての七ツ寺は東門、三重塔、本堂、観音堂などを持つ大きな寺院でした。「尾張名所図会」にも、景勝の地として紹介されています。
※現・中区大須二丁目



「大須観音」

大須観音は、江戸の浅草と並び称された名古屋の盛り場でした。旧暦2月25日には、桜天神(現・中区錦二丁目)も同時に祭礼が行われたため、桜天神と大須観音の間には、多くの人々が行き交ったといえます。
※現・中区大須二丁目



400年の旅人「はち丸」

名古屋開府と同じ1610年、名古屋生まれ。人とふれあうことが大好きで、名古屋をあちこち旅している。2010年、仲間とともに、大好きな名古屋の400歳をお祝いしようと考え中。



名古屋開府400年祭マスコットキャラクター



やっとかメ「だなも」
自然と平和、スローライフを求めて世界を旅している。



なごやジョウ「エビザベス」
「はち丸」の友達。
好奇心旺盛な女の子。



ねがいボシ「かなえっち」
「はち丸」と一緒に旅をしている。

